



町民と行政のかけはし  
南大隅町

# みんなの議会



沿道からの温かい声援に応じて力走する選手ら

## 第1回南大隅町町内駅伝大会

—新春の佐多～根占路—

### 12月定例会まで

12月定例会までの主な議決内容.....	2～3
7議員が一般質問.....	4～11
みなさんからの請願・陳情処理状況等.....	12

発行  
南大隅町議会

編集  
議会だより編集委員会  
〒893・2501  
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北226  
電話 0994・24・3111  
(内線332番)

# 第3号

平成18年2月号

# 12月議会で議決した主な議案内容

12月定例会は12日から22日までの11日間の会期で開かれ、平成16年度各会計歳入歳出決算認定22件や、平成17年度補正予算等議案29件、諮問1件について審議され、原案どおり可決されました。

### 予算関係(補正)

一般会計補正(第6号)  
7、531万2千円を追加し、総額78億8、360万8千円とする。  
【個人町民税等の追加、地場産業研修センターの解体費、町有施設整備基金繰入等】

### 国保特別会計補正

(第2号)  
4、549万3千円を追加し、総額14億3、898万1千円とする。  
【医療費の増額や、国庫事業の変更等】

### 診療所特別会計補正

(第4号)  
2、462万円を追加し、総額6、645万8千円とする。  
【医療機器及び薬剤購入等】

ねじめ温泉・ネッピー館

### 特別会計補正(第3号)

214万5千円を追加し、総額1億6、000万円とする。  
【利用者増による宿泊、食事料の増額や温泉利用料の減額、燃料費及び食材費の追加等】

### 認定

### (平成16年度決算)

平成16年度決算認定については、9月定例会において、決算審査特別委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていました。今定例会において、委員長より審査の経過及び結果について報告があり、根占町一般会計・特別会計の7会計と、佐多町一般会計・特別会計の7会計及び南大隅町暫定分一般会計・特別会計の8会計の決算が認定されました。



現地調査(根占地区にて)



書類審査(佐多支所にて)

### 条例関係

高齢者支援センター条例の一部改正  
【指定管理者の管理条文を一部改正するもの】  
老人福祉センター条例の一部改正  
【指定管理者の管理条文を一部改正するもの】

ねじめ温泉・ネッピー館条例の一部改正

【指定管理者の管理条文を追加すると共に、宿泊料の一部を改正するもの】

半潜水型水中展望船条例の一部改正

【指定管理者の管理条文を追加するもの】

半潜水型水中展望船待合所条例の一部改正

【指定管理者の管理条文を追加し、使用料の一部を改正するもの】



# 一般質問

12 月議会では、7 議員より一般質問がありました。その要旨は次のとおりです。



枝迫勝太郎 議員

管内漁協の合併の進捗状況について

枝迫 先般、佐多、佐多岬、大根占町漁協の合併合意の発表があり、ねじめ漁協が含まれていないことに、町民は驚きと疑問を持ったようです。管内漁協の合併の進捗状況と経過を伺いたい。

町長 湾東地区の区域で 6 漁協が合併推進協議会を立ち上げ協議してきましたが、垂水、鹿屋、根占が離脱し、

協議会枠で残った漁協が合併することです。去る 11 月 9 日に仮調印がなされ、それぞれの漁協の総会で合併案件が承認されると平成 18 年 2 月 1 日が合併の予定 です。

枝迫 今後、どのような事態が起こると思うか。漁業振興上、特に補助金交付など支障はないものかと考えるが。

町長 漁協合併促進に関する基本方針では、平成 20 年を目標に 1 県 1 漁協を掲げています。更に合併推進が図られると思われませんが、ねじめ漁協においても今回は離脱しましたが、債務解消の折は合併する意向を示されていますので、1 県 1 漁協の枠組みに入ると考えています。

枝迫 変則的な合併と思うなら、町長の特権である総合調整権の地方自治法第 157 条の発動は考えてないか。

町長 管内の公共的団体の活動については、団体の自主性を尊重することが活動促進に繋がると考えます。今回の漁協合併に際しても、それぞれの漁協の立場を尊重し、活性化が図られることを願っていますので、現段階では、157 条の発動は考えていません。

イヌマキの枯死対策について

枝迫 旧根占町の町木、イヌマキの枯死状況をどのように認識しているか。

町長 2 年前からキオビエダシヤクの食害、最近ではケブカトラカミキリの食害が発生し、特に城内、川北、貫見、入ヶ山地区で多く見られます。今年はや田地区や横別府地区の一部でも散見されています。食害により枯死することもあるようですので、広報でお知らせし、駆除を呼び掛けたところ です。



イヌマキの木

枝迫 枯死への手立ては、どのように考えているか。

町長 両害虫とも殺虫剤による駆除が可能です。私有物ですので、薬剤等の準備はしていませんので、個々において駆除されるよう望んでいます。大木等は個人では無理があるので、シルバー人材センターの活用や、または、発生時期での共同駆除等も考えられます。

指定管理者制度について

枝迫 指定管理者制度とはどういうものか。また、どのような利点があるのか。

町長 公共的団体に限られていた公の施設の管理を、民間企業等を含む幅広い団体に委ねようとするものです。利点は、これまでの管理委託制度では直営方式のため職員の経費が必要でしたが、その点が縮減されると考えられます。また、指定管理者が利用料等も設定でき、収受できる点などが挙げられます。対象施設は、福祉施設、体育施設、文化施設、宿泊施設、公園などです。

枝迫 指定管理者制度をどのように運用していくのか伺いたい。

町長 指定管理者を導入する施設については三つに分類します。A 分類には指定管理者を公募する施設として、ネッピ館、道の駅を含む海浜公園を、B 分類に

は経過措置として現在の管理委託先を指定管理者とする施設として、社会福祉協議会の事務所である老人福祉センター、シルバー人材センターの事務所である高齢者支援センターを、C分類には、施設の性質上、現在の管理委託先等を指定管理者とする施設として、半潜水型水中展望船及び待合所を指定管理者制度にすべきとして、本定例会に当該施設についての改正条文を提案するところです。

鹿児島交通根占バス停のトイレ設置について

枝迫 下町地区バス停の公衆トイレ設置については、9月議会でも質問があったが、未だ仮設の状況です。女子高校生等は大変困っております。これまでの経過と今後の考えを伺いたい。

町長 トイレについては、農協のAコープにお願いして利用している状況ですが、鹿屋への通学生の朝一番のバス利用がありますので、

トイレは必要不可欠と考えます。しかしながら大隅交通ネットワークとしては現在の空き地について売却も含め将来構想が立つてないということですので、今後は民有地も含めて適地があれば早急なトイレ建設を計画したいと考えています。



下町バス停周辺

町民税等債権回収対策について



持留秋男 議員

持留 平成16年度決算で、町税、国民健康保険税、保育料等に過年度、現年度を含め多額の未納がある。早急な回収に努力され、真面目な町民に対しても公平な収納策を講じてほしいが、町長の考えを伺いたい。

町長 常習的未納者については法、規則に基づき厳しく対処しています。新町誕生と同時に、町の持つ全ての債権を対象にした債権回収対策プロジェクト会議を発足し、本庁支所連携して未収金回収に全力を挙げています。

持留 債権回収対策プロジェクトの動向について伺いたい。

本庁税務課長 3点ほど目標を立てて取り組んでいます。第1点目にプロジェクトチームによる徴収ですが、これは管理職、担当職員がペアで夜間徴収を行うもので12月に実施しています。2点目に滞納整理指導官による新規職員に対する研修、あるいは長期滞納者、高額滞納者に対し個別呼び出しをして指導を行っています。3点目に税務署、各行政機関等の関係機関と連携を密にした徴収態勢を組み全力で取り組んでいます。

管理職手当の支給割合について

持留 本庁支所の管理職手当に差があるのは何故か。

町長 本庁管理部門の煩雑性及び議会対策等を考慮し、合併協議会の行政部会で協議、決定されました。しかし、職員を統括調整する管理職の任務は互いに重責であり、現在、本庁支所、同率支給の方向で作業を進めています。

持留 現在、職員は互いに重責であり、現在、本庁支所、同率支給の方向で作業を進めています。

行財政改革について

持留 現在、職員の給与が現金支給であるが、口座振込制度の導入は考えてないか。

町長 給与法では、通貨による支払いの原則が規定されています。更に、地方公務員法で職員の給与は法律または条例により、特に認められた場合を除き、通貨で直接職員に全額を支払うとなっております。凡例によると、①給与の口座振込みは職員の意思に基づいていること。などが規定されています。今後、職員の意思を集約しながら制度を検討していきます。

持留 本町に収入役はいないが、指定金融機関制度は考えられないか。

町長 県内では61団体内43団体が指定金融機関制度を採用しているようです。本町では、職員が指定金融機関制度に準じて公金の収納並びに支払い関係を行って

いますが、行財政のスリム化という観点から、制度採用については十分検討すべきと考えています。

辺塚西の村山～萩平線町道整備について

持留 4 年位前まで継続的に改修整備されていたが、その後中止されている。マイクロバス等が通れず、利用時には、村山入り口まで歩いて行く状況です。早急に改修出来ないか伺いたい。



辺塚西の村山～萩平線町道 (佐多)

町長 町民の日常生活を支え、地域の活性化を図る上で極めて重要な生活関連道路ですので、改良の重要性は十分認識しています。多額の事業費を伴い、財政的に厳しい状況下ですが、新町建設計画並びに平成 17 年度から平成 21 年度までの過疎地域自立促進計画にも盛り込まれています。現在の町道改修工事の進捗状況等も見極めながら、過疎計画を基本に、道路の整備を進めていきたいと考えます。

中学校グラウンド風対策について



宇野仁一 議員

宇野 グラウンド活動上の風の影響を認識されているか。その対策と計画を伺いたい。

教育長 根占中グラウンドについては冬場は山側、校舎側から西風が吹くため、それほど影響は無いようです。第一佐多中グラウンドについては特に冬場、海からの風が強く部活動等に影響を受けています。土舗装整備や植栽等の対策を講じてきましたが、台風による倒木等、効果は得られていません。今後、防風ネットや金網、防風林、芝グラウンド等の風対策を検討し、善処していきたいと考えます。



第一佐多中グラウンド

小学校の児童減少対策について

宇野 辺塚・郡・竹之浦・大泊・登尾小等の今後の児童推移と、対策について伺いたい。

教育長 来年度から平成 23 年度までの入学児童数は町全体で 57・57・58・47・48・69 名となっています。中でも辺塚・郡・竹之浦・大泊・滑川小の 5 校は、来年度入学児童がいない状況です。対策としては、若者

過疎対策について

定住策が何よりですが、教育委員会としては、具体策として、竹之浦小が実施している『海の子留学制度』や『孫戻し』といったような、地域の取り組みを援助していくことと考えています。

宇野 過疎歯止め対策と計画について伺いたい。

町長 合併に伴い新町建設計画と過疎地域自立促進計画に沿って、各種施策の展開を図っていますが、やはり第一次産業の振興が急務と思われれます。農林水産業は素材に恵まれており、これをどう活かすかであると思えます。

宇野 遊休地等を整備し、若手農業者の受け入れと育成は考えられないか。

町長 担い手の確保、新規就農の取り組みについては、積極的に奨励しており、今年、8 人を若い農業者入植事業によって認定していま

す。遊休地等の整備については、家畜の放牧等が各地に広がり、農地開発にも最適かと考えます。

介護保険利用状況について

宇野 現在の調査、認定、利用状況を伺いたい。

町長 訪問調査は、公正公平を視点に置き、本庁2名、支所2名の計4名体制で実施しています。認定者数は10月末現在で726名です。利用状況としては、居宅利用者が456名、施設利用者が174名となっています。昨年度の同時期と比較すると、認定者が44名の減、居宅利用者が30名の減、施設利用者が6名の減となっています。

宇野 今後の推移をどう考え、また、介護保険法改正を踏まえ、どのように取り組まれるか伺いたい。

町長 第3期計画期間の認定率については、増加傾向

と予想され、現状のままでは居宅サービス、施設サービス利用者数は増加の一途にあり、当然、介護給付の増加、これに伴う介護保険料の値上げも考えられます。このような点から、制度改革が行われ、要支援・要介護1などに、軽度者を対象とした新しい予防給付が創設されました。また、介護の重度化の予防も見込まれるとされており、これを受け本町も第3期事業計画の見直しを進めています。サービス料、給付費等ははや減少傾向で推移すると考えられます。また老人保健、介護保険事業の基礎的見直しもあることから、各事業等連携を強化しながら、自立支援に向けた適切な介護保険事業の推進を図ってきたいと考えます。

宇野 介護予防的取り組みにどう考え、その対策を伺いたい。

町長 平成18年度から地域包括支援センターを設置する計画です。センターには

介護予防知識の高い職員として、社会福祉士、主任ケアマネージャー、保健士等の3名を配置し、①総合相談、支援。②介護予防マネジメント。③包括的継続マネジメント業務を推進し、高齢者の介護予防に努めます。

宇野 老人クラブ育成状況について伺いたい。

町長 本年5月31日に、旧町の老人クラブ連合会が合併し、南大隅町老人クラブ連合会が発足しました。主な活動としては、根占地区では週3回、老人福祉センターで、単老毎に定例会を開催し、消防他、各分野からの講和を聞いたりして交流を深めています。また、町老人スポーツ大会や児童との世代間交流、ゲートボール大会等の活動を続けています。

根占・山川フェリー(ぶーげんびりあ)について

宇野 山川、指宿、県、い

わさきとの協議計画と進捗状況を伺いたい。

町長 近々、県の音頭で4者会談が開催されますが、いわさきコーポがどのような支援を望み、県がどのような支援施策をするか、それを見極めながら本格就航に向けて、4者会談に臨む姿勢であります。内容については、暫時報告していきます。

宇野 町長として、現段階



根占・山川フェリー(ぶーげんびりあ)

での青写真を伺いたい。

町長 課題はぶーげんびりあを購入するか、しないか。架橋の使用料、運賃等をどう活かし進めるか。運営については3セクか。ということですが、6ヶ月で閉鎖したくないというのが本音です。

宇野 両地区各分野での交流補助は考えられないか。

町長 指宿佐多地区の観光連絡協議会で、山川・根占航路再開に向けて、構成団体である指宿、山川、開闢、南大隅町の1市3町の総合交流を促進する地域交流事業助成金を、本町発案で、今年7月から実施しています。スポーツ少年団や青少年交流、高齢者交流、イベント交流で10名以上の団体に1万円、10名未満の団体に5千円を交付するものです。

宇野 観光客の受け入れ策をどう考えているか。

町長 指宿、山川、開間に新聞折り込みチラシ、ネット館の期限付き無料入浴を周知したところです。また、全国的ネーミングの佐多岬を本町観光の目玉にすべく、佐多岬到着証明書の発行を準備中です。また、山川・根占航路調査研究会を中心に、宮崎日南へ旅行会社、観光所を中心にした営業活動を計画しているところです。

**財政状況について**

宇野 合併特例債の活用を含め、現状と見通しについて伺いたい。

町長 本年度は、生ごみ収集車の購入事業、町道維持補修事業、風力発電周辺整備事業等、事業費で7、920万円の起債申請を行っています。借入金ですので、対象事業を精査し、必要最低限度での活用を考えています。また、財政状況と見通しについては、地方交付税の減額による歳入減は否めない状況であり、また一

般会計における平成17年度地方債残高見込みは17億4千万円で、平成18年度も17億円を超える財源償還が必要となる現状です。特に基金残高においても、減少見込みで合併したとはいえ、非常に厳しい状況です。

宇野 行革を含め、削減案を伺いたい。

町長 徹底した行財政改革を推進するため、事務事業の抜本的な再編整備を図ることとしています。このため行政と住民の役割分担の明確化が出来ないものは廃止、また年次計画の縮小、既得権的な漫然とした予算要求は行わないとし、予算編成作業においては必要性、緊急性を考慮し削減に努めます。



松元勇治 議員

**独身者の結婚問題について**

松元 少子化が急速に進む本町において、根本的打開策として結婚問題を推進する施策は考えられないか。また、補助はできないか。

町長 これまで、商工会青年部や一般の有志の方々に『語らいの場』を持たれているようですが、なかなか見合いの場では双方困難なものがあるようです。しかしながら、事業なりイベント等を通じて、ふれあいの機会を作ることが最適かと思えますので、事業等を検討し、場合によっては事業への補助も否めないのかと思えます。

松元 青年団といえば活気があり、地域の行事にも参加し、グループの核となるものですが、現在、町青年

団の充実はどのように図られているか伺いたい。

町長 旧両町の青年団が合併し、新町青年団として活動しています。現在の団員構成は男性16名、女性4名、計20名で、内、既婚者が6名ということですが、少子高齢化や個人主義的風潮のある社会情勢の中で、団員は減少しつつありますが、地元青年だけでなく、学校職

員等の加入も得ながら、年末のクリスマス活動、年始のカルタ大会、夏祭りの踊り連参加や、ドラゴンボートフェスティバル前夜祭の出店及び当日の運営、町民運動会、駅伝大会、文化祭など団活動更には町の活性化に努めています。また、町としても補助金の助成等で活動支援を行っているところです。



年始のカルタ大会（町青年団）



公共施設の整備・管理体制について

松元 フェリー就航によって外来者が期待できますが、観光地としての景観が良くても、道路が汚れていては台無しです。官民一体となつての管理体制作りが必要ですが、県土木事務所への要望等どのように行われているか。また、道路、港湾など住民から要望を受けているか。

町長 住民からの文書による要望については、土木事務所長宛に町長名で進達し、口頭、電話による要望については、その都度、担当課長、担当者によって対応しています。更に、年1回の土木事務所との行政懇談会では、写真等で説明し、お願いしています。早急な対応に努めておりますが、事業費等がかさむ要望については、十分検討し要望を上げていくところです。関係機関とも十分な連携を取りながら対応していきたいと思ひます。

本庁建設課長 港湾に放置してある廃船については、県の土木事務所にも聞いてみましたが、土木事務所としては、河川課、本課においてほしいというが、まだ、回答がないということです。また、他人の財産でもあり、県が簡単には捨てられないと、一度県が負担してしまえば、後々も出てくるのではということであり、今後は、町内だけの問題でないようですので、県の方で方策を検討して頂けるよう努めたいと思ひます。

松元 利用頻度の多いみなと公園について、歩道の段差解消、暗く汚く悪臭のするトイレの改善を考えるとないか伺ひたい。

町長 みなと公園は花火大会、ドラゴンボート、秋祭り等、本町のイベント広場として、利用価値が非常に高まっている実情です。トイレに

ついては、毎年8月開催の鹿屋土木事務所との行政懇談会で、早期改修を幾度となく要望していますが、本課の査定で取り上げられない状況です。今後、ことあるごとに要望していきたいと思ひます。



みなと公園(根占地区)

平成18年度予算編成に取り組む姿勢について



竹之内勝男 議員

竹之内 職員ひとり一人が町のため、町民のため、公務員として、役場職員として自覚を持ち、仕事には改革意識をもって、合理的な仕事をして頂きたい。こうした、職員の意識改革が新年度予算にも反映されるよう指導されたい。また、職員の教育指導をどのように考えているか伺ひたい。

町長 職員は全体の奉仕者として、公共の利益のため勤務し、且つ、職務遂行にあたっては全力を挙げてこれに専念しなければならぬと思ひています。地方公務員法の服務基準が規定しており、私も常々、職員の服務、綱紀粛正については、厳しく指導しているところ、職員は耳偏であり、

住民への接し方ではまず4S活動、まず1つサービス、2にスピード、3にシステム、4にスマイルなど、また、全職員にパソコン上で危機管理の為の7つの行動方針を表示し、パソコン起動時に目を通すようしています。職員の意識改革については、常に危機感を持ち、執務するよう指導を徹底していきます。

竹之内 町民の声を聞くことが、改革への早道と思うが、民間の代表者による、行財政改革推進協議会を町長の諮問機関として設置出来ないか。

町長 行政改革大綱策定により、南大隅町行政改革検討委員会が設置され、現在、職員部会14名により、作業を進めています。ここで素案を作り、本部会の課長会で検討し、情勢改革推進委員会に諮問して、南大隅行政改革大綱を策定するところです。現在、職員部会により定期的に検討を重ねているところで、鋭意作業中

であります。既存の行政改革推進委員会に諮問する考えであります。それから、民間の代表者をといて点では、10カ年基本計画の方で、学識経験者等を入れて編成し、計画を進めているところです。

竹之内 農業振興に積極的な予算を組めないか伺いたい。

町長 1次産業の振興が本町振興の要であり、特に農業は、耕種部門、畜産部門等において、割合を占め最も重要な産業と認識していますので、作付け体系や飼養体系の確立を急ぎながら、国・県の補助事業導入を含めて予算編成に反映するよう努力していきます。

竹之内 フェリー就航や新幹線の乗り入れ等で観光地としての条件も大分良くなってきたが、観光事業で最も力を入れるべき場所等、また観光ルートの整備は万全か伺いたい。

町長 フェリー、ロードパークの解決が、観光振興の重要な要素です。ネッピー館に大型観光案内板、観光農園、風力発電施設への標識などのルート整備に努めている所です。更には、新町観光マップで根占、佐多地区の周遊モデルコースも紹介しています。また、老朽化した佐多岬展望所もいわさきの改修計画に入っているようです。来年度も、観光PRなどソフト面を中心として取り組みながら、ネッピー館、ふれあいセンターという特色ある宿泊施設等を観光の拠点として、ルート化を図っていききたいと考えています。



周遊コースとしての大浜海浜公園・道の駅

竹之内 少ない歳入、少なくなっていく国、県の地方交付税や補助金等の中で、健全財政を18年度はどのよう目指すか伺いたい。

町長 総務省が発表する類似団体別市町村財政指数一覧によると、人口及び産業構造から、本町の標準的予算規模としては、約50億円程度と考えられます。合併による普通交付税の算定の特例から、平成26年度までには、50億円程度まで予算額を圧縮していく必要があ

ります。平成17年度当初予算額が約68億円ですので、9年間で18億円を縮小することになります。年間2億円の縮減ということでは非常に厳しいところです。18年度は、交付税等の減少も考慮し、65億円程度の規模を目指して、予算編成を進めていこうと考えています。



平原熊次 議員

観光資源の活用について

平原 半島特定地域「元気おこし」事業の進捗状況はどうなっているか伺いたい。

町長 本年度は、根占地区で大浜海浜公園の整備と、住宅の整備、それから佐多地区で、風力発電施設周辺の整備を進めています。尚、進捗状況は、いずれの事業も10%程度で、工期は大浜

海浜公園が18年1月、住宅、風力関係が18年2月末となつていきます。

平原 林道根占中央線から風力発電施設周辺は、ツーリズムを核とした体制作りが必要と思われるが、今後の見通しを伺いたい。

町長 観光農園からパノラマパーク西原台、辻岳、野首嶽、風力発電へと一連の観光ルートでありますし、観光パンフレットと観光マップ、ホームページ等で紹介しているところです。登山やサシバ、初日の出の観賞のため、辻岳、野首嶽登山道も先月除草整備を行ったところです。また西日本最大級といわれる、風力発電施設も景観のよい7号機の展望所周辺の竹が伸び、景観を阻害する状況もありませんので時期を見て整備したいと考えています。いずれにしてもこのルートが癒しとしての地の利がありますので、ツーリズムを核として、旅行J A等を活用してPRしていきたいと

考えています。

平原 町内宿泊客のサタデイ号乗船割引は、どのように適用されているか。また、利用状況はどのようになっているか伺いたい。

町長 サタデイ号の乗船割引は佐多岬荘の時代の平成7年から開始しています。割引率は2割引で、本年度は4月から11月までの8ヶ月間で、佐多岬ふれあいセンターの宿泊客3、152名うち173名の5・5%がサタデイ号を利用して

います。年々、佐多岬ふれあいセンターの宿泊客は減少傾向にあり、これに比例してサタデイ号の利用状況も減少傾向にあります。今後は、ネッピール館、さたでいランド、大浜海浜公園の宿泊者も対象にこの割引制度を適用し、佐多岬への集客を図ろうと考えています。

道路改良事業について

平原 新町久保下線・馬場川中学校線・塩入横別府線

の道路改良が中断されているが、今後の計画の見通しはどのようになっているか伺いたい。



馬場川中学校線

町長 3路線については町民の日常生活を支え、地域の活性化を図る上で極めて重要な生活関連道路であり、改良の重要性は十分認識しているところです。しかしながら、多額の事業費が必要であり、財政的に非常に厳しい現状にあります。新町建設計画並びに平成17

年度から平成21年度までの過疎地域自立促進計画にも盛り込まれており、現在4路線の改良工事を進めていますので、その進捗状況等も十分見極めながら、過疎計画を基本に道路の整備を進めていきたいと思

います。また、平成17年10月に、全国半島市町村協議会により県代行事業の整備推進を頂くよう要望しているところですが、現時点では、県も財政的に非常に厳しい状況とい

う事業により整備して頂くよう平成16年5月に県土木部長、道路建設課長に要望書を提出しています。また、平成17年10月に、全国半島市町村協議会により県代行事業の整備推進を頂くよう要望しているところですが、現時点では、県も財政的に非常に厳しい状況とい

とを伺っています。特に、尾之上公民館前の路地、あそここの用地交渉が進めば即、隘路を解消したいと考えています。



牧 勝 議員

健康増進について

町長 健康維持、増進を図るために、佐多支所管内にも生き生きサロンねじめ館風の施設は考えていないか。

町長 旧根占中学校跡地を活用してサロン館を設置し、昨年9月より交流の場として広く町民の方々にご利用頂いています。開設以来、約1、900人を超す利用者があるとのこと。少なからず高齢者等を始めた町民の方々の交流、更には健康維持、増進に繋がっているものと思っ

ます。従いまして、佐多地区での設置については、本年度国庫補助事業の中で計画し、現在、支所の方と協議しながら、佐多地区にある保健センターを利用して、映画や遊具設備等を出来るだけ年度内に設置する方向で進めているところです。



町民の交流の場、更には健康維持、増進に活用される、生き生きサロンねじめ館

一般質問については、要旨のみ掲載しています。会議の内容は閲覧もできます。

# みなさんからの 請願・陳情処理状況

集落内建設砂防ダムの堆積土砂、流木除去についての陳情書について

(原 自治会)

経済建設委員会付託

【要 旨】

当地区内に設置してある砂防ダム 3 箇所、天目石ダム、原川ダム、小田ダムが、台風 14 号等により土砂や流木で埋もれ満杯状態であり、放置すれば、流域住民に甚大な被害を及ぼすこととなります。そのため、砂防ダムに堆積している土砂及び流木の除去を即時対応してほしい。

【審査結果】

採択されました。

畦地地区災害復旧についての要望書について

(原 自治会)

経済建設委員会付託

【要 旨】

台風 14 号の豪雨により、辺田地区の山林が崩壊して特に、畦地地区では溜め枿が溢れ流域一帯の人家、町道、耕地等に甚大な被害を被りました。災害箇所はその後、改善がなされず、そのままの状態であり、梅雨や台風時期には再び災害の発生が予想されます。災害の発生防止のため、上流からの排水を 1 箇所集中せず、排水路を数箇所に分散し、また、溜め枿の容量拡大をして頂きたい。

【審査結果】

採択されました。

南大隅高等学校存続支援策についての陳情書について

(南大隅高等学校同窓会長・PTA 会長)

委員会付託は省略

【要 旨】

高校存続の支援策として

基金制度、奨励金制度や補助金制度等の活用を検討頂き、施行されることを切に要望します。

【審査結果】

採択されました。



委員会の調査報告

南大隅高等学校存続問題調査特別委員会

高校存続が危機的状況にある中、行政のできる支援策として、先ず 1 点目に、高校生活に必要な教育資金への奨学金制度としての基金の設置。対象者は南大隅高校に通う本町及び錦江町を除く町外の学生とする。錦江町については、独自の制度があります。2 点目に個性、特性を持った生徒の確保、地域や実社会に貢献できる就学者支援、生徒や教職員の向上心を支援する

ための奨励金制度。対象者は、難度の資格取得者、成績優秀者、ボランティア活動など地域活動貢献者、課外活動優秀者、教職員研修補助等です。この制度については、錦江町議会とも意見の一致をしております。尚、18 年度に運用できるように早急な対応を強く要望します。今後もより良い支援策を求めて調査を続けていきます。

行政改革等問題調査特別委員会

本町の今日の行財政状況を鑑み、次のような改善案をつけて、平成 18 年度予算編成に反映できるよう意見し、報告とします。

- ① 町民への行財政状況の広報の方法の見直しを行うこと
- ② 課設置条例の見直し
- ③ 類似委員会等の統合・縮小への見直し
- ④ 休眠委員会等の廃止
- ⑤ 報酬給与条例の見直し
- ⑥ 余剰職員をもつて、各種団体、協議会等へ出向させ、人件費に見合う補助金等の減少を図ること

## 議会を傍聴してみませんか！

議会は、年に 4 回（3 月・6 月・9 月・12 月）の定例会と必要に応じて開かれる臨時議会があります。

傍聴にはお気軽にお越しください。日程等詳しい事は、議会議務局（TEL 24 - 3111）までお問い合わせください。

- ⑦ 嘱託員制度も同様とする
- ⑧ 公用車の減少と管理の確立を図ること
- ⑨ 庁舎清掃の外部委託を見直し、職員で行うこと
- ⑩ 職員給与の口座振込みを検討すること
- ⑪ 早期勧奨退職制度の導入等